ヒューマンハードウェアのマキタ
人の暮らしとすまいのために……

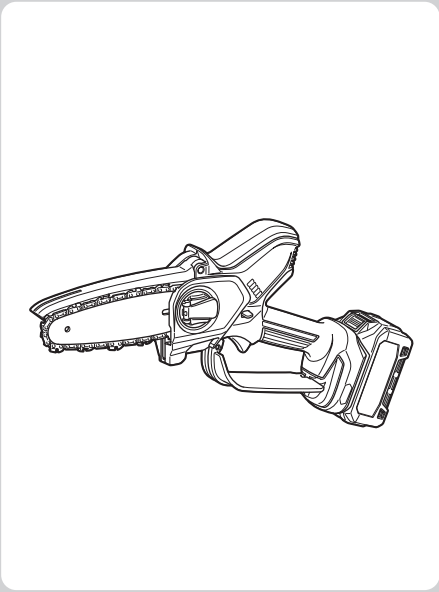
makita

取扱説明書

充電式ハンディソー

100 mm モデル MUC028G

150 mm モデル MUC029G



このたびは**充電式ハンディソー**をお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。
ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本製品の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただいて、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願いいたします。
なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

もくじ

はじめに

主要機能 …… 2
安全上のご注意 …… 5
各部名称 …… 22
標準付属品の確認 …… 23
別販売品のご紹介 …… 24

ご使用前の準備

チェーンオイルの注入 …… 27
バッテリの充電 …… 29
バッテリ／充電器の取り扱い …… 34
使用前に知っておいていただきたいこと …… 41
組み立て …… 42

使い方

チェーン刃の調整 …… 44
チェーン刃の取りはずし／取り付け方法 …… 46
バッテリの取り付け／取りはずし方法 …… 52
本製品の操作 …… 53
・スイッチの操作 …… 53
・作業方法 …… 54
使用後の取り扱い …… 57
・本製品のお手入れ …… 57
・ハンディソーの持ち運び方 …… 57
・本製品の保管 …… 57

保守／点検

調整 …… 58
お手入れ …… 61
消耗品の交換／補充 …… 63
チェーンオイルの補充 …… 63
故障かな？と思ったら …… 65

充電式ハンディソー 保証書 …… 裏表紙

はじめに

主要機能

本製品（80TXL チェーン刃仕様）

主要機能＼モデル		MUC028G	MUC029G
電動機		DC ブラシレスモータ	
バッテリ		リチウムイオンバッテリ	
		BL4025（容量 2.5 Ah ／セル数 10 本）	
電圧		直流 36 V（40 V max）※	
チェーンスピード		8.0 m/s（480 m ／分）	
チェーンオイル	使用オイル	マキタ純正チェーンオイル	
	タンク容量	55 mL	
	給油方式	自動	
振動 3 軸合成値		3.7 m/s^2	4.6 m/s^2
防じん・防水保護等級		IPX4	

本製品（M11 チェーン刃仕様）

主要機能＼モデル		MUC028G	MUC029G
電動機		DC ブラスレスモータ	
バッテリ		リチウムイオンバッテリ	
		BL4025（容量 2.5 Ah ／セル数 10 本）	
電圧		直流 36 V（40 V max）	
チェーンスピード		8.0 m/s（480 m / 分）	
チェーンオイル	使用オイル	マキタ純正チェーンオイル	
	タンク容量	55 mL	
	給油方式	自動	
振動 3 軸合成値		4.9 m/s^2	6.1 m/s^2
防じん・防水保護等級		IPX4	

・ 振動 3 軸合成値は、EN62841-4-1 規格に基づき測定。
・ 振動 3 軸合成値についての詳細は JEMA［(社）日本電機工業会］ウェブサイト：(http://www.jema-net.or.jp/Japanese/pis/powertool.html) をご参照ください。

急速充電器		DC40RA
入力電圧		単相交流 100 V
入力周波数		50-60 Hz
入力容量		310 W
バッテリ充電端子	出力電圧	直流 40 V max ※
	出力電流	直流 6 A
USB電源端子	出力電圧	直流 5.0 V
	出力電流	直流 2.4 A
	形状	USB Type-A

※：40 V max は満充電時のバッテリ電圧を表しています。
・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

バッテリ装着時の質量・寸法

■ MUC028G

本製品（80TXL チェーン刃仕様）

装着バッテリ	質量※	寸法（長さ×幅×高さ）※
BL4020	2.0 kg	425 mm × 95 mm × 255 mm
BL4025		
BL4040	2.2 kg	436 mm × 95 mm × 257 mm
BL4040F		

本製品（M11 チェーン刃仕様）

装着バッテリ	質量※	寸法（長さ×幅×高さ）※
BL4020	2.0 kg	425 mm × 95 mm × 255 mm
BL4025		
BL4040	2.2 kg	436 mm × 95 mm × 257 mm
BL4040F		

■ MUC029G

本製品（80TXL チェーン刃仕様）

装着バッテリ	質量※	寸法（長さ×幅×高さ）※
BL4020	2.1 kg	474 mm × 95 mm × 255 mm
BL4025		
BL4040	2.3 kg	485 mm × 95 mm × 257 mm
BL4040F		

本製品（M11 チェーン刃仕様）

装着バッテリ	質量※	寸法（長さ×幅×高さ）※
BL4020	2.0 kg	474 mm × 95 mm × 255 mm
BL4025		
BL4040	2.3 kg	485 mm × 95 mm × 257 mm
BL4040F		

※：チェーン刃、ガイドバー含む

1 充電あたりの作業量

・ 数値は参考値です。
・ 材料の状態、チェーン刃の状態により異なります。

本製品（80TXL チェーン刃仕様）

モデル	使用バッテリ	材料	切断量
MUC028G	BL4025	ひば材 φ 50 mm	約 415 本
MUC029G			

本製品（M11 チェーン刃仕様）

モデル	使用バッテリ	材料	切断量
MUC028G	BL4025	ひば材 φ 50 mm	約 385 本
MUC029G			

JPA045-9

本製品（充電器は除く）は、雨の中での使用に耐えうる製品仕様となっていますが、故障しないことを保証するものではありません。以下のことに注意してください。

安全上のご注意

- ご使用前に、「取扱説明書」と「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
- 感電、火災、重傷などの事故を未然に防ぐために、この「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 「充電工具」は、充電式（バッテリパック式）電動工具を示します。

注意文の ⚠警告 ・ ⚠注意 ・ 注 の意味について

ご使用上の注意事項は ⚠警告 と ⚠注意 ・ 注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

⚠警告 ：誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意 ：誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。
なお ⚠注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注 ：製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なご注意。

充電式製品共通の安全上のご注意

⚠ 警告

作業環境

1 作業場は、整理整頓してください。また、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
・ ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。

2 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
・ 充電工具から発生する火花が発火や爆発の原因になります。

3 使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。
・ 注意力が散漫になり、操作に集中できなくなる可能性があります。
・ 作業者以外、充電工具や充電器のコードに触れさせないでください。

4 落雷の恐れがある場合は製品を使用しないでください。
・ 感電ややけどの恐れがあります。

5 子供が充電工具で遊ばないように注意してください。
・ けがや事故の原因になります。

6 十分な、防じん対策や飛散防止対策をしてください。
・ 特に、人体に有害な成分を含む材料を加工するときは、注意してください。

7 アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用しないでください。
・ アスベストは、人体に肺がんなどの重大な健康被害を発症させる物質です。

電気に関する安全事項

1 電源コンセントは充電器の電源プラグに合ったものを使用してください。また、電源プラグの改造をしないでください。アース（接地）付きプラグは確実にアース（接地）をしてください。
・ 改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。

⚠警告

2 金属製のパイプや暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠などアース（接地）されているものに身体を接触させないようにしてください。
- 感電する恐れがあります。

3 充電器は、雨中や湿気の多い所で、充電したり、保管しないでください。
- 充電器内部に水が入り、感電や発熱、発火、破裂する恐れがあります。

4 充電器の電源コードを乱暴に扱わないでください。
- 電源コードを持って充電器を運んだり、引っ張ったりしないでください。また、電源プラグを抜くために電源コードを利用しないでください。
- 電源コードを熱、油、角のある所、動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、身体にからまって感電する恐れがあります。

5 使用環境に適した延長コードを使用してください。

6 充電工具、バッテリは、雨の中に放置しないでください。
- 感電や発熱、発火、破裂の恐れがあります。

7 雨の中で、バッテリを製品からはずさないでください。
- 感電や発熱、発火、破裂の恐れがあります。

8 濡れた手でバッテリの端子や充電器の電源プラグ、電源コンセントに触れないでください。
- 感電の恐れがあります。

9 USB 端子付きの充電工具や充電器は、USB 端子間を短絡（ショート）させないでください。
- 釘、針金が USB 端子内に入ると、短絡（ショート）して発煙、発火の恐れがあります。

⚠警告

作業者に関する安全事項

1 油断しないで十分注意して作業を行ってください。

- 充電工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- 疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいる方や妊娠している方は、充電工具を使用しないでください。
- 屋外での作業の場合は、夜間の使用や悪天候などで視界の悪いときは充電工具を使用しないでください。
- 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。

2 安全保護具を使用してください。

- 作業時は、常に保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では防じんマスクを併用してください。必要に応じて、すべり防止安全靴、ヘルメット、耳栓、イヤマフなどを着用してください。

3 不意な始動は避けてください。

- バッテリを本製品に差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
- スイッチに指をかけて運ばないでください。

4 充電工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。

- 電源を入れたときに、取り付けたキーやレンチなどが回転して負傷する恐れがあります。
- 本製品に収納場所がある場合は、決められた位置にしっかり固定してください。

5 無理な姿勢で作業をしないでください。

- 本製品を無理に押しつけず、常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。

6 きちんとした服装で作業してください。

- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
- 髪、衣服、手袋は回転部分に近づけないでください。
- 屋外での作業の場合には、すべり止めの付いた履物の使用をおすすめします。
- 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

⚠警告

7 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
- 充電工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置を確実に接続することで粉じんの人体への影響を軽減できます。

充電工具の使用および手入れ

1 充電工具は能力に合った作業に使用してください。
- 安全に能率よく作業するために、充電工具の能力に合った負荷で作業してください。

2 スイッチに異常がないか点検してください。
- スイッチで始動および停止操作のできない充電工具は危険です。使用せず修理をお申し付けください。

3 充電工具の誤始動を防ぐために、次の作業前はスイッチを切り、バッテリを本製品から抜いてください。
- 本製品の調整
- 刃物、砥石、ビットなどの先端工具や付属品の交換
- 保管、または修理
- 充電工具から離れるとき
- 本製品の受け渡し
- その他危険が予想される作業

4 使用しない充電工具、充電器およびバッテリは、子供の手の届かない乾燥した鍵のかかる場所に保管してください。
- 充電工具や充電器からバッテリを抜いて保管してください。
- 充電器は電源コンセントから電源プラグを抜いて保管してください。
- バッテリはバッテリカバーを付けて保管してください（バッテリカバー付きの場合）。

⚠警告

5 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての部位に異常がないか確認してください。

- 保守点検が不十分であることが事故の原因になります。
- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
- 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- 充電器の電源コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
- 充電器に使用する延長コードは、定期的に点検し、損傷している場合は交換してください。
- 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。

6 先端工具は、鋭利できれいな状態を保ってください。

- 先端工具を適切に手入れすることで、円滑な作業と容易な操作ができます。

7 取扱説明書で指定した先端工具、付属品、アタッチメントなどを使用してください。

- 取扱説明書で指定のサイズ、形状、付属品などは、本製品の性能や安全を引き出すよう、最適に設計されています。

8 充電工具、付属品、アタッチメント、先端工具類は、作業条件や実施する作業に合わせてご使用ください。

- 指定された用途以外に使用すると、事故の原因になります。

9 清掃の際は、バッテリ部、モータ部、電気接続部へ水を侵入させないようにしてください。

バッテリに関する安全事項

1 バッテリを差し込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。

- スイッチがオンの位置にあるときにバッテリを差し込むと事故につながります。

2 バッテリは専用充電器以外では充電しないでください。

- ほかのバッテリ用の充電器を流用すると、火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。

⚠警告

3 マキタが指定した専用バッテリ以外使わないでください。また、改造したバッテリ（分解してセルなどの内蔵部品を交換したバッテリを含む）を使用しないでください。

・工具本体の性能や安全性なども損なう恐れがあり、火災やけが、故障、破裂などの原因になります。

4 バッテリの端子部を金属などで接触させないでください。

・バッテリを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。短絡（ショート）して発熱、発火、破裂の恐れがあります。
・本製品または充電器からはずした後は、バッテリにバッテリカバーを必ず取り付けてください（バッテリカバー付きの場合）。

5 高温などの過酷な条件下ではバッテリから液漏れすることがあります。漏れ出た液体に不用意に触れないでください。

・万が一、バッテリの液が目に入ったら、直ちにきれいな水で十分洗い医師の治療を受けてください。
・バッテリの液は炎症ややけどの原因になることがあります。

6 バッテリはマキタ製品以外に取り付けて使用しないでください。

・火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。

7 バッテリは、火への投入、加熱をしないでください。

・発火、破裂の恐れがあります。

8 バッテリに釘を刺す、切る、潰す、投げる、落とす、硬い物で叩くなど衝撃を与えないでください。

・発熱、発火、破裂の恐れがあります。

9 分解・改造をしないでください。

・発熱、発火、破裂の恐れがあります。

10 バッテリを火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・保管しないでください。

・バッテリを周囲温度が 50 ℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。バッテリ劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。

⚠ 警告

11 バッテリの内部に塩水のような導電体を侵入させないでください。
- バッテリ内部に塩水のような導電体が侵入すると、感電や発熱、発火、破裂の恐れがあります。

12 使用時間が極端に短くなったバッテリは使用しないでください。

13 落としたり、何らかの損傷を受けたバッテリは使用しないでください。
- 損傷、または使用できなくなったバッテリは回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。

14 使用済みのバッテリは一般家庭ゴミとして棄てないでください。
- 棄てられたバッテリがゴミ収集車内などで破壊されて短絡（ショート）し、発火・発煙の原因になる恐れがあります。

15 バッテリは、電力量が 100 Wh を超える場合、危険物に分類されます。
- 輸送の際は、輸送会社にお問い合わせの上、指示に従ってください。
- 電力量は、バッテリ裏側の注意ラベルに記載されています。

16 使用中、使用後にバッテリが熱くなることがあります。やけど、低温やけどの原因になるため注意してください。
- 使用直後は製品の端子部に触れないでください。熱くなっているためやけどの恐れがあります。

17 バッテリに切りくず、ホコリ、土などがたまらないようにしてください。
- 異常発熱によりやけどしたり、発火、破裂または、作動不良によりけがに至る恐れがあります。

⚠警告

整備

1 充電工具は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。

- 本製品、充電器、バッテリを分解、修理、改造はしないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
- 本製品が熱くなったり、異常に気づいたときは点検・修理に出してください。
- 本製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
- 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。
- アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用した本製品の保守・点検・修理は受付できません。

その他の安全事項

1 保守や点検は雨を避けられる場所で行ってください。

2 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。異常がある場合は、使用する前に修理を行ってください。
- 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
- 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙、発火、感電、けがに至る恐れがあります。
  ＜異常・故障例＞
  - 本製品やバッテリが異常に熱い。
  - 本製品やバッテリに深いキズや変形がある。
  - 焦げくさい臭いがする。
  - ビリビリと電気を感じる。
- スイッチを入れても動かないなど不具合を感じた場合は、すぐにバッテリを抜いてお買い上げの販売店、または当社営業所に点検、修理をお申し付けください。

⚠警告

3 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。
- この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

4 材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。
- 材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で充電工具を使用できます（材料を動かして加工する製品を除く）。

5 ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、ガス、接着剤などのある場所では充電しないでください。
- 爆発や火災の恐れがあります。

6 火災の恐れがあります。次のようなことをしないでください。
- ダンボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニルなどの上では充電しないでください。
- 風窓のある充電器は、充電中に風窓をふさがないでください。また風窓に金属類、燃えやすいものを挿し込まないでください。
- 綿ぼこりなど、ホコリの多い場所で充電しないでください。

7 使用直後は製品の端子部に触れないでください。
- 熱くなっているため、やけどの恐れがあります。

8 充電器のバッテリ装着部には充電用端子があります。金属片・水などの異物を近づけないでください。
- そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。

9 充電器は充電以外の用途には使用しないでください。

10 充電中、発熱などの異常に気が付いたときは、直ちに電源プラグを抜いて充電を中止してください。そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。

⚠警告

11 正しく充電してください。

- 充電器は定格表示してある電源で使用してください。
- 昇圧器などのトランス類や直流電源では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
- ラベルに 発電機 の表示がある充電器はエンジン発電機（当社インバータ制御付エンジン発電機は除く）では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
- 周囲温度が 10 ℃未満、または周囲温度が 40 ℃以上ではバッテリを充電しないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- バッテリは、換気のよい場所で充電してください。充電中のバッテリや充電器を布などで覆わないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- 充電器の電源コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないような場所で充電してください。発煙、発火、感電の恐れがあります。
- 充電器を使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

12 充電器の電源プラグにぬれた手で触れないでください。

- 感電の恐れがあります。

13 充電工具を高圧電線の近くで使用しないでください（高圧電線対応製品は除く）。

- 誤動作や故障する恐れがあります。

14 充電器で使用する延長コードの太さ（導体公称断面積）と長さの目安

- 充電器の使用時に延長コードが必要な場合、充電器を最高の能率で支障なくご使用いただくために十分な太さの延長コードをできるだけ短くお使いください。

太さ（導体公称断面積）	長さの目安
2.0 mm^2	30 m

この取扱説明書は、大切に保管してください。

- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に必ず保管してください。
- ほかの人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

●騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

⚠注意

1. 極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。

2. 使用後は付着したゴミなどを取り除き、乾燥させてから保管してください。
   ・季節や地域によっては凍結による故障の恐れがあります。

3. 通気口に雑草や葉、土などのよごれが付着した場合、取り除いてください。
   ・故障の原因になります。

4. 高圧水での洗浄はしないでください。
   ・破損、故障の原因になります。

JPB384-3

充電式ハンディソー 安全上のご注意

先に充電工具としての共通の注意事項を述べましたが、充電式ハンディソーとして、さらに次の注意事項を守ってください。

⚠ 警告

1 本製品は樹木の枝のせん定や木材の切断を目的とした製品です。この目的以外には使用しないでください。
- 目的以外で使用されますと、けがや事故の原因になります。また本製品の寿命を縮めます。

2 使用中は、両手で確実にハンドルを保持してください。
- 本製品がはね返り、けがの原因となります。

3 チェーン刃は取扱説明書に従って正しく取り付けてください。
- 誤った取り付け方をしますと、ガイドバーからチェーン刃がはずれ、けがの原因になります。

4 ガイドバーの先端部での切断はしないでください。また、ガイドバーの先端部を枝や地面などに触れさせないように作業してください。
- 本製品がはね返り（キックバック）けがの原因になります。

5 使用中は、チェーン刃、ガイドバーや回転部、切りくずなどに手や顔などを近づけないでください。
- けがの原因になります。

6 はしごや木に登って作業するなど、不安定な姿勢で使用しないでください。また、肩の高さより高い位置で使用しないでください。
- けがの原因になります。

7 使用中、本製品の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社営業所に点検・修理をお申し付けください。
- そのまま使用していると、けがの原因になります。

8 誤って落としたり、ぶつけたときは、チェーン刃、ガイドバーや本製品などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
- 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

9 ポータブル電源ユニットの使用時は、コードが足や障害物に引っかからないように注意してください。
- コードが引っかかると、けがの原因になります。

⚠警告

10 作業中は常に保護帽（ヘルメット）、保護メガネ（ゴーグル）、耳栓、保護手袋、チェンソー用防護ズボンを着用し、履き物は滑り止めの付いた安全靴などの保護具を着用してください。
・けがの原因になります。

11 チェーン刃は、正しく目立てしてください。
・特にデプスゲージの寸法が大きくなりすぎますと、本製品のはね返り（キックバック）発生の危険性が高くなります。

12 切断材料は、しっかり固定してください。また切り落とし材に十分注意してください。
・けがの原因になります。

13 ガイドバーとチェーン刃の取り付け、取りはずしをするときは、必ず本製品の電源を切り、バッテリを取りはずしてから行ってください。
・電源が入ったままですと、不意にチェーン刃が回りだすなどして事故の原因になります。

14 ガイドバーケースの取り付け、取りはずしの際は、刃先に注意してけがをしないようにしてください。

15 足元が滑りやすい場所、および急傾斜地では使用しないでください。
・転倒してけがの原因になります。

16 誤操作を防ぐ安全装置（ロックオフレバー）が確実に作動することを、作業前に必ず確認してください。
・事故の原因になります。

17 チェーンキャッチャー（スプロケットカバー）は、はずれたチェーン刃を受け止める重要機能部位です。損傷がない状態で使用してください。

［事業者の方へ］
樹木を伐り倒す作業や伐り倒した樹木を切断する作業を行う場合は、法令、規則で定める特別教育を受けた人に行わせてください。

（関連法令）
労働安全衛生法第 59 条第 3 項
安全衛生特別教育規程第 10 条
労働安全衛生規則第 36 条第 8 号

⚠警告

高所作業時の注意事項

1. 高所（高さが２ｍを超える箇所）で本製品の作業を行うときは、高所作業用の機器を活用して、安定した足場を確保してください。
   ・けがの原因になります。

2. 安全帯（芯入り）を必ず着用し身体をしっかり固定してください。
   ・けがや事故の原因になります。

3. 両手で前後のハンドルを正しく握り、肘を軽く曲げて作業してください。片手持ち作業、腕を伸ばしての本製品の操作は行わないでください。
   ・けがの原因になります。

4. 作業範囲は作業者の肩から腰までの高さとし、それ以外では作業を行わないでください。
   ・けがの原因になります。

⚠注意

1. 使用しないときは、バッテリをはずして、ガイドバーにカバーをして刃物がむき出しにならないようにした後、お子様の手の届かない所に保管してください。
   ・けがの原因になります。

2. スイッチを入れるとき、チェーン刃が材料やほかのものに当たっていないことを確認してください。
   ・本製品が引っ張られたり戻されたりして、けがの原因になります。

3. 材料に石、釘などの異物がないことを確かめてください。
   ・刃物が石などに当たると、けがの原因になります。

4. 切り落とし寸前や切断中に材料の重みでガイドバーが材料に挟み込まれないように、切断する部分に近い位置を支える台を設けてください。
   ・ガイドバーが挟み込まれると、けがの原因になります。

⚠注意

5 ガイドバーケースを取り付けた状態で本製品を起動しないでください。

6 本製品を作動させたまま床などに放置しないでください。
・事故の原因になります。

7 行政機関では、チェンソーの 1 日の使用時間は 2 時間以内、連続操作時間は 10 分以内にするよう指導しています。作業時間の組み合わせを上手に計画してご使用ください。

8 寒いときの休憩や昼食時には暖をとり、身体の保温に心がけてください。

9 チェーン刃を取り扱うときは、保護手袋を着用してください。
・けがの原因になります。

10 2 台以上で作業するときは、安全な距離を確保してください。
・事故の原因になります。

11 チェーン刃は、常に良い切れ味で使用してください。切れ味の悪くなったチェーン刃は目立て、または交換をしてください。

12 風窓を手でふさいで使用しないでください。

13 降雪時や積雪中での使用は避けてください。
・製品が凍結して故障する恐れがあります。

IP 表示について（防じん・防水性能）

IP 表示は IEC 国際規格により規定される電気機器への粉じんや水の侵入に対する保護等級を表します。
保護等級の分類と内容はつぎの通りです。

IP X 4

有害な影響を伴う水の侵入に対する保護等級（防水）

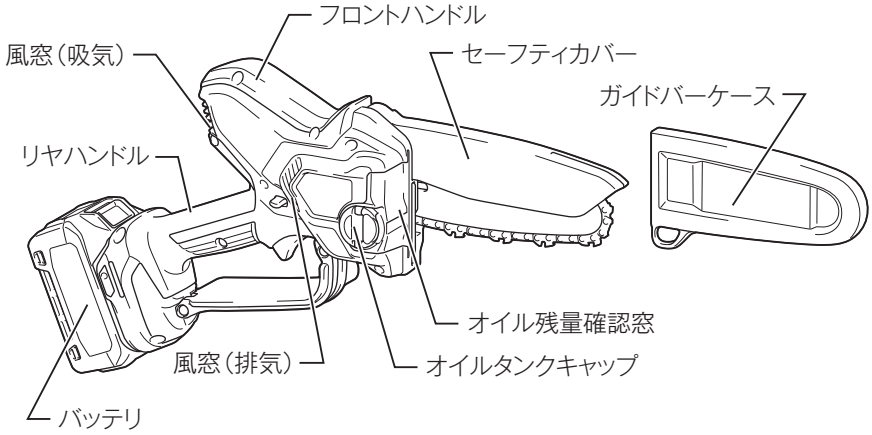
保護等級	内容
0 ～ 3	省略
4	あらゆる方向からの水の飛沫に対して保護されている。
5	あらゆる方向からの噴流水（12.5 ℓ/min）に対して保護されている。
6	あらゆる方向からの暴噴水（100 ℓ/min）に対して保護されている。
7	水に浸しても影響がないように保護されている。
8	潜水状態での使用に対して保護されている。

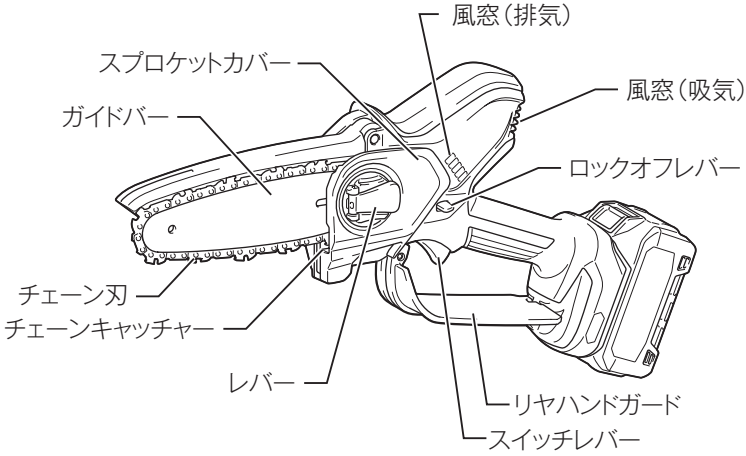
外来固形物の侵入に対する保護等級（防じん）

保護等級	内容
0 ～ 3	省略
4	直径 1 mm 以上の大きさの外来固形物に対して保護されている。 針金での危険箇所への接近に保護されている。
5	防じん試験用粉じん（直径 75 μm）が侵入しても、動作および安全性を損なわないように保護されている（防じん形）。
6	耐じん試験用粉じん（直径 75 μm）が侵入しないように保護されている（耐じん形）。
X	規定しない。

注	・IP 表示をしている製品は粉じんや水による影響を受けにくいように設計されていますが、故障しないことを保証するものではありません。過度な粉じんのあるところ、水中や雨の中での使用、放置はしないでください。 ・工具本体にバッテリを装着した状態で、IEC 国際規格に規定された保護等級に適合しております。

各部名称





［イラストはMUC029G］

標準付属品の確認

標準付属品＼モデル		MUC028GRD	MUC028GZ	MUC028GZN
バッテリ（容量／セル数）		BL4025（2.5 Ah／10本）	×	
充電器（充電時間）		DC40RA（実用充電完了※1：約19分）（フル充電完了※2：約28分）	×	
ガイドバーケース		○		
チェーンオイル		○		
バッテリカバー		○	×	
チェーン刃	形式	80TXL		M11
	ピッチ	0.325インチ		1/4インチ
	ゲージ	1.1 mm		1.1 mm
	ドライブリンク数	26枚		33枚
ガイドバー	長さ	100 mm		
	ゲージ	1.1 mm		

標準付属品＼モデル		MUC029GRD	MUC029GZ	MUC029GZN
バッテリ（容量／セル数）		BL4025（2.5 Ah／10本）	×	
充電器（充電時間）		DC40RA（実用充電完了※1：約19分）（フル充電完了※2：約28分）	×	
ガイドバーケース		○		
チェーンオイル		○		
バッテリカバー		○	×	
チェーン刃	形式	80TXL		M11
	ピッチ	0.325インチ		1/4インチ
	ゲージ	1.1 mm		1.1 mm
	ドライブリンク数	32枚		41枚
ガイドバー	長さ	150 mm		
	ゲージ	1.1 mm		

※1：フル充電完了の約80％の充電が完了した状態。
※2：バッテリの容量いっぱいまで充電された状態。

別販売品のご紹介

・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げの販売店、または当社営業所へお問い合わせください。

バッテリ、充電器およびその他アダプタ類

品目	品名	部品番号
使用可能バッテリ（容量／セル数）	◎ BL4020（2.0 Ah ／ 10 本）	A-75823
	◎ BL4025（2.5 Ah ／ 10 本）	A-69923
	◎ BL4040（4.0 Ah ／ 10 本）	A-69939
	◎ BL4040F（4.0 Ah ／ 10 本）	A-73841
対応充電器（36 V（40 V max））	DC40RA（急速充電器）	JPADC40RA
	DC40RB（2 口急速充電器）	JPADC40RB
	DC40WA（2 口充電器）	JPADC40WA
	DC40WB（充電器）	JPADC40WB

◎：使用推奨バッテリ

・ ポータブル電源ユニット
PDC01
部品番号：A-69098
※：別途 18 V バッテリが必要です。

・ ポータブル電源ユニット
（PDC1200）
部品番号：A-71825

・ アダプタセット品（40 V max × 1）
部品番号：A-72241
※：ポータブル電源ユニット PDC01、PDC1200 使用時に必要となるアダプタです。

・ BAP001G　バッテリアダプタ
部品番号：A-75817
バッテリを分離させて、腕の負担を軽減します。
※：このアクセサリは BL4020、BL4025、BL4040、BL4040F でお使いいただけます。

・ ADP10　充電器用互換アダプタ
部品番号：A-69967
※：充電器DC40RAまたはDC40RBに取り付けることでマキタ 14.4 V/18 V バッテリの充電が可能になるアダプタです。

100 mm チェーン刃 80TXL 用
・ チェーン刃 80TXL-26E
部品番号：A-74734

100 mm チェーン刃 M11 用
・ チェーン刃 M11-33E
部品番号：A-77235

・ ガイドバー 4
部品番号：A-74740

150 mm チェーン刃 80TXL 用
・ チェーン刃 80TXL-32E
部品番号：A-76308

150 mm チェーン刃 M11 用
・ チェーン刃 M11-41E
部品番号：A-77914

・ ガイドバー 6
部品番号：A-76299

適用モデル※	組み合わせて使用する部品		
	チェーン刃 部品番号	ガイドバー 部品番号	スプロケット 部品番号
MUC028G	80TXL-26E A-74734	ガイドバー 4 A-74740	スプロケット 7 227947-5
	M11-33E A-77235		スプロケット 9 221497A2
MUC029G	80TXL-32E A-76308	ガイドバー 6 A-76299	スプロケット 7 227947-5
	M11-41E A-77914		スプロケット 9 221497A2

※：同じ適用モデルで異なるチェーン刃に交換する場合は、スプロケットもセットで交換する必要があります。

・ チェーンオイル（1 L）
部品番号：A-58300

・ チャップス
部品番号：A-76233

・ 耐切創グローブ（EN381-7 クラス 0）
部品番号：A-68638（S サイズ）
部品番号：A-68644（M サイズ）
部品番号：A-68650（L サイズ）

・ 耐切創グローブ（保護クラス 0）
部品番号：A-78427（S サイズ）
部品番号：A-78433（M サイズ）
部品番号：A-78449（L サイズ）

・ ホルスタセット品
部品番号：A-76314
※：MUC028G、MUC029G のいずれにも使用できます。

・ クイック脱着フック
部品番号：A-78988

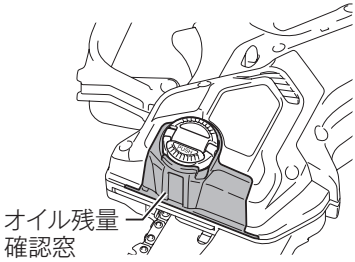
・ 丸ヤスリ 4（ハンドルなし）
部品番号：A-77942

・ ハンドル
部品番号：A-78003
※：ハンドルなしタイプの丸ヤスリ用

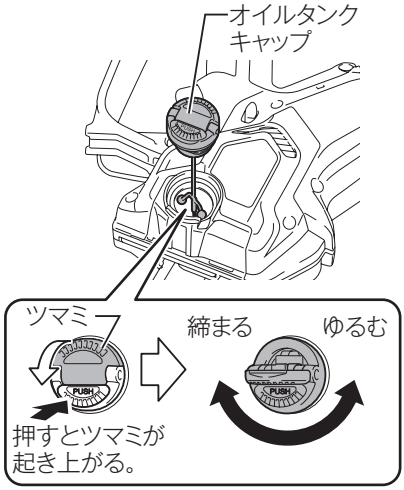
チェーンオイルの注入

注	使用前に必ずオイルタンクにチェーンオイルを入れてください。チェーンとガイドバーの潤滑･冷却および摩耗防止のために必要です。 ・チェーンオイルが不足すると、チェーンの焼き付きや破損、ガイドバーの摩耗の原因となります。

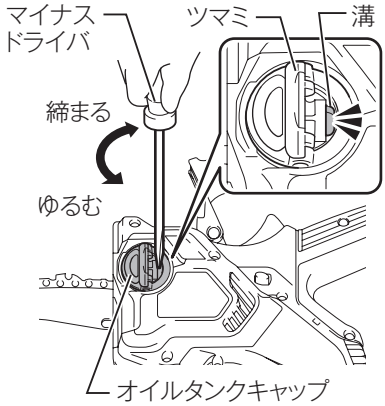
・チェーンオイルはハンディソーを運転すると自動的に給油されます。
・使用前に必ずオイルタンクにチェーンオイルを入れてください。
・作業中もオイルタンク内のチェーンオイル残量を確認し、少ない場合は補充してください。



・チェーンオイルの補充はオイルタンクキャップを取りはずして入れます。容量は約 55 mL です。
・オイルタンクキャップは、ツマミを起こし、オイルタンクキャップがはずれるまで、ゆるむ方向に回して取りはずします。



・ オイルタンクキャップがゆるまないときは、マイナスドライバの先端を溝に入れて回してください。
・ 補充後はオイルタンクキャップを元通りに閉じ、補充したチェーンオイルが漏れないよう、しっかり締めてください。

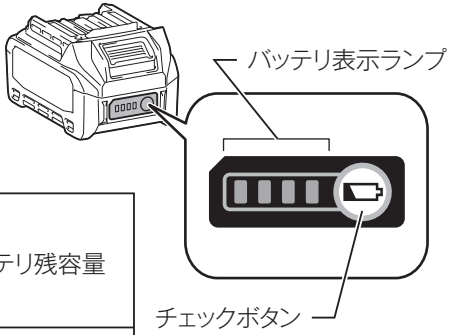


注	・使用するときは、チェーンオイルをオイルタンクに入れてください。 ・チェーンオイルは、マキタ純正チェーンオイルをお使いください。 ・ゴミなどの混入したオイルおよび揮発性のオイルは絶対使用しないでください。

バッテリの充電

バッテリ残容量表示

・ チェックボタンを押すとバッテリ表示ランプが残容量を数秒間表示します。



バッテリ表示ランプ :点灯　:点滅　:消灯	バッテリ残容量
■ ■ ■ ■	75 % - 100 %
■ ■ ■ □	50 % - 75 %
■ ■ □ □	25 % - 50 %
■ □ □ □	0 % - 25 %
◪ □ □ □	充電してください。
■ ■ □ □ ↓ ↑ □ □ ■ ■	バッテリの異常です。

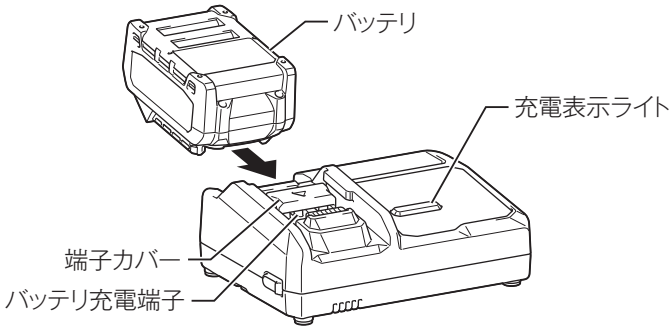
注	・表示される残容量は、ご利用状況や気温などによって実際の残容量と異なる場合があります。 ・バッテリ保護機能が働いた際は、左端のバッテリ表示ランプが点滅します。

シンボルマークについて

・ 充電器および取扱説明書にシンボルマークを表記しております。このシンボルマークの意味をご理解の上ご使用ください。

充電器は屋内で使用してください。

バッテリの充電方法



1. 充電器の電源プラグを 100 V の電源コンセントに挿し込みます。

・充電表示ライトは [緑点滅] を繰り返します。

2. バッテリを充電器の挿入ガイドにそって、一番奥まで入れます。

・充電器の端子カバーはバッテリ挿入に伴い開閉します。

3. バッテリを挿入しますと充電表示ライトが [青点滅（短）] に変わり、現在設定されている充電完了メロディーの確認音が短時間鳴り、充電を開始します。

4. 実用充電完了状態（約 80 % ～ 100 %）になると [青点灯] に変わり、電子ブザーが約 1 秒鳴ります。

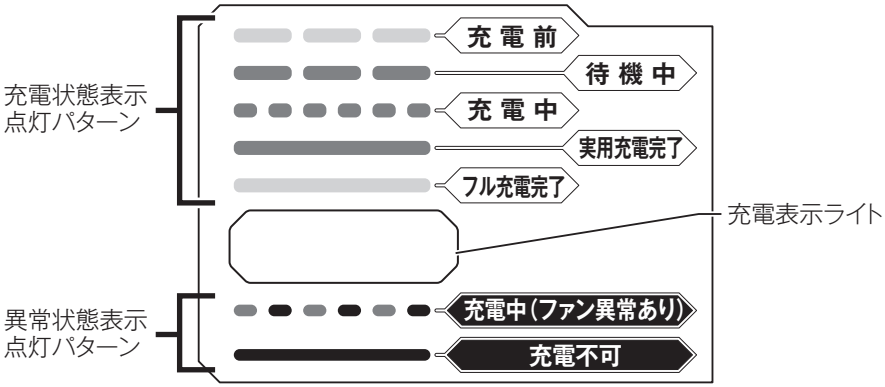
5. フル充電完了状態になると [緑点灯] に変わり、充電完了メロディーまたは電子ブザー音が鳴ります。

・充電時間は周囲温度（10 ℃～ 40 ℃）やバッテリの状態（新品・長期保存バッテリや寿命に近いバッテリなど）により変動します。
・充電完了後すぐに使用しない場合は、バッテリの冷却を行いますので、そのまま差し込んでおくことをおすすめします。冷却時間は約 30 分です。

6. 充電完了後はバッテリを抜き取り、電源コンセントから充電器の電源プラグを抜きます。

充電表示ライトについて

充電表示ライトの内容は以下のようになっています。



ライト表示	状態	詳細
緑点滅	**充 電 前**	電源に挿し込んだ状態
青点滅(長)	**待 機 中**	バッテリが充電可能な温度状態になった後、自動的に充電開始
青点滅(短)	**充 電 中**	バッテリ容量約0 %~80 %
青点灯	**実用充電完了**	バッテリ容量約80 %~100 % (80 %で電子ブザーが鳴ってお知らせ)
緑点灯	**フル充電完了**	バッテリ容量100 % (電子ブザーまたはメロディーでお知らせ)
青･赤交互点滅	**充電中(ファン異常あり)**	冷却ファンの故障または冷却不足の状態
赤点灯	**充電不可**	バッテリ寿命またはゴミづまりで充電不可の状態 (電子ブザーが約20秒間鳴ってお知らせ)

注	・DC40RA はマキタバッテリ専用の急速充電器です。他の目的に使用しないでください。 ・使用直後のバッテリや直射日光の当たる所に長時間放置したバッテリを充電すると充電表示ライトが [青点滅（長）] を繰り返す場合があります。 ・このようなときは、自動的に充電器内蔵の冷却ファンによりバッテリを冷却してから充電を開始します。 ・充電開始後、充電表示ライトが [赤点灯] し、電子ブザーが [ピッピッピッ] と約 20 秒間鳴った場合は、バッテリの寿命またはゴミづまりで充電できないか、充電器とバッテリ間の通信が異常です。 ・このようなときは、バッテリ充電端子を掃除したり、新しいバッテリに交換してください。 ・次のような状態のときは、充電器またはバッテリに故障があると考えられますので、充電器とバッテリの両方を、お買い上げの販売店、または当社営業所へお持ちください。 × 充電器のプラグを 100 V の電源に挿し込んでも、充電表示ライトが [緑点滅] しない。 × バッテリを挿入しても、充電表示ライトが [青点滅] しない。 ・バッテリを使用しないときは、バッテリカバーをかぶせてください。バッテリを水やホコリから保護するのに役立ちます。

バッテリ／充電器の取り扱い

バッテリについて

・ お買い上げ時は、バッテリは十分に充電されていないため、充電器で正しく充電してからご使用ください。
・ 使用しないときはバッテリカバーをかぶせてください。バッテリを水やホコリから保護するのに役立ちます。
・ 使用しないときは本製品または充電器からバッテリを抜いて保管してください。

バッテリを長持ちさせるには

・ 工具の力が弱くなってきたと感じたら使うのをやめ、充電してください。
・ 満充電したバッテリを再度充電しないでください。
・ 充電は周囲温度 10 ℃～ 40 ℃の範囲で行ってください。
・ 長期間（6 ヶ月以上）ご使用にならない場合、リチウムイオンバッテリは充電してから保管することをおすすめします。

バッテリの回収について

・ 使用済みバッテリはリサイクルのため回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。

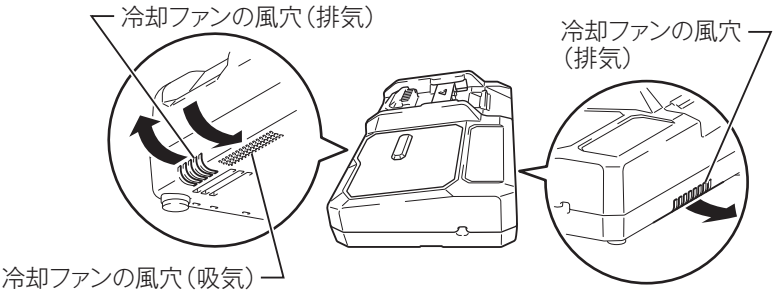
リチウムイオンバッテリは
リサイクルへ

充電器の点検・修理・保管方法

・ いつも安全に能率よくお使いいただくために定期点検をおすすめします。修理・点検はお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
・ 充電器の保管場所として次のような場所は避けてください。
×お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる所
×温度や湿度の急変する所
×湿気の多い所
×直射日光の当たる所
×揮発性物質の置いてある所

充電器の冷却システムについて

・ バッテリの性能を十分に発揮させるため、充電器内蔵の冷却ファンによりバッテリを効率良く冷却するシステムです。送風の音がしますが故障ではありません。
・ 冷却ファンが故障したり、充電器やバッテリのゴミづまりによって冷却不足となった場合、充電表示ライトが [赤・青交互点滅] し冷却システム異常をお知らせします。冷却システム異常の場合も充電を行いますが、充電時間が長くなることがあります（その場合、実用充電完了表示はありません）。
  ・ このようなときは、充電器、バッテリの風穴がふさがれていないか、または送風の音がしないか、ご確認ください。
・ 充電器の前面と背面にある「冷却ファンの風穴」がゴミやホコリでふさがれていないか定期的に確認、清掃をしてください。



・ 充電中、送風の音がしない場合がありますが、充電表示ライトが [赤・青交互点滅] していなければ故障ではありません。冷却ファンを停止して充電することがあります。
・ 充電器、バッテリの風穴をふさがないでください。
・ 頻繁に充電表示ライトが [赤・青交互点滅] するようなときは、点検・修理をお申し付けください。

充電器のメロディー切り替え方法

1. バッテリを充電器に差し込むと、現在設定されている充電完了メロディーの確認音が短時間鳴ります。

2. このとき、素早くバッテリを差し直すと充電完了メロディーの確認音が変わります。

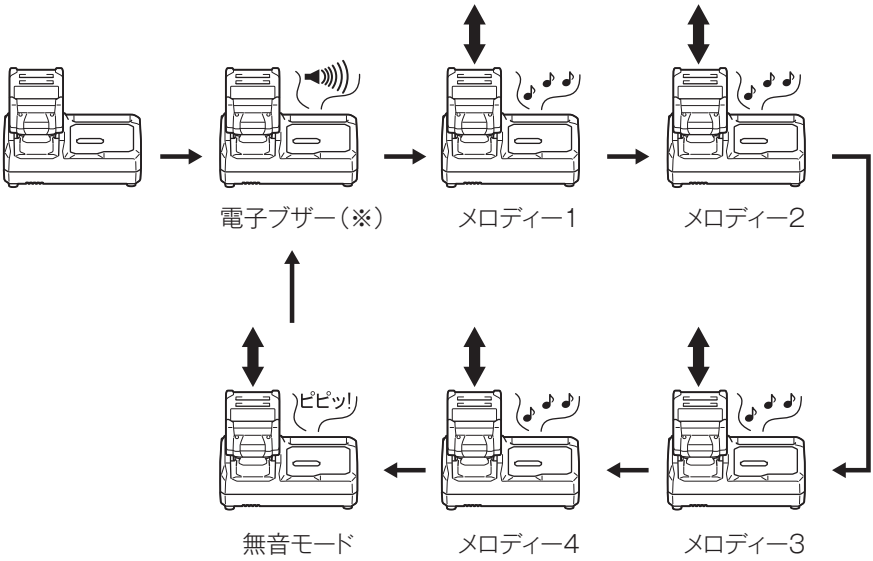
3. 続けて素早くバッテリを差し直すたびに充電完了メロディーの確認音が順に変わります。

4. 設定したい充電完了メロディーの確認音が鳴りましたら、バッテリを挿入したままにすることで充電を開始します。

「ピピッ！」と鳴るモードを選んだときは充電完了時に音が鳴りません（無音モード）。

5. 充電が完了すると充電表示ライトが [緑点灯] に変わり、バッテリ挿入時に設定した充電完了メロディーや電子ブザー音が鳴ります。無音モードを選択した場合には完了時に音はしません。

6. 設定した充電完了メロディーは充電器の電源プラグを抜いても記憶されています。



（※）出荷時は電子ブザーに設定されています。

充電器の USB 電源端子の使い方

⚠ 警告

USB 電源部の端子間を短絡（ショート）させないでください。

・ 釘、針金が USB 電源端子部に入ると、短絡（ショート）して発煙、発火の恐れがあります。

DC40RA は、様々な USB 機器の外部電源としても使用することができます。次の注意事項をよくお読みの上、正しくお使いください。

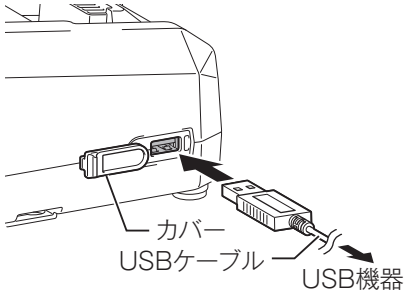
注	・ **万一の場合に備えて、ご使用になる USB 機器の内部データを必ず事前にバックアップしてください。** ・ 接続した USB 機器の内部データが（予測できない問題により）破損・消失する可能性があります。 ・ **USB 機器の種類によっては、動作しない、または充電できない機種があります。** ・ **2.4 A を超える出力電流を必要とする USB 機器は、充電器に接続しないでください。** ・ USB 電源端子の最大出力電流は、2.4 A です。 ・ **充電器と USB 機器の接続には、USB 機器に付属の USB ケーブルをご使用ください。** ・ **使用後は USB 端子カバーを閉じてください。USB 端子カバーが開いていると USB 端子内部に水滴やホコリが侵入し故障につながります。**

1. DC40RA 側面の USB 端子カバーを開いて、USB ケーブルで USB 機器と接続します。

2. DC40RA の電源プラグを電源コンセントに挿し込んで USB 機器に給電します。

3. 使用後は、USB 機器、USB ケーブルを取りはずし、カバーを戻してください。

4. 電源コンセントから充電器の電源プラグを抜いてください。



壁に取り付けて使用する際のご注意

⚠ 注意

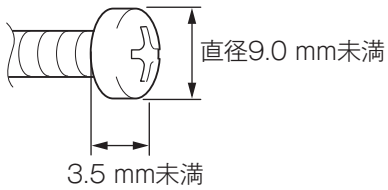
- 壁に取り付けて使用する場合は、必ず吊下げ用ネジ２本で確実に吊下げてください。
- 充電器を吊下げた後は、固定用ネジなどにより充電器を固定してください。固定が不十分な場合、充電器からバッテリを抜き取る際に充電器が落下する恐れがあります。
- 取り付け作業を行うときは、バッテリを抜き取り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- 取り付け作業を途中で中断すると落下などの恐れがあります。取り付け手順を守り、最後まで確実に取り付け作業を行ってください。
- 定期的にネジのゆるみがないか確認してください。
- ネジのゆるみがあると充電器が落下する恐れがあります。
- 定期的に充電器の端子部を掃除してください。
- 端子部の掃除を行うときは、エアダスターなどでていねいに行ってください。
- 充電器本体とバッテリ（BL4080F）の総重量は、約 3.0 kg になります。取り付け場所の耐荷重が不足する場合は、十分な補強を行ってください。

壁面への充電器の取り付けは、次の手順で行ってください。

1. 事前準備

用意するもの（別途準備してください）

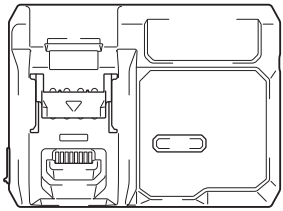
- 木ネジ（吊下げ用）4 mm × 20 mm 以上：２本
  ※ネジ頭は下図の寸法としてください。

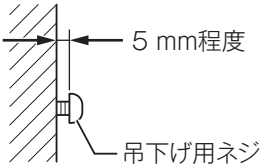


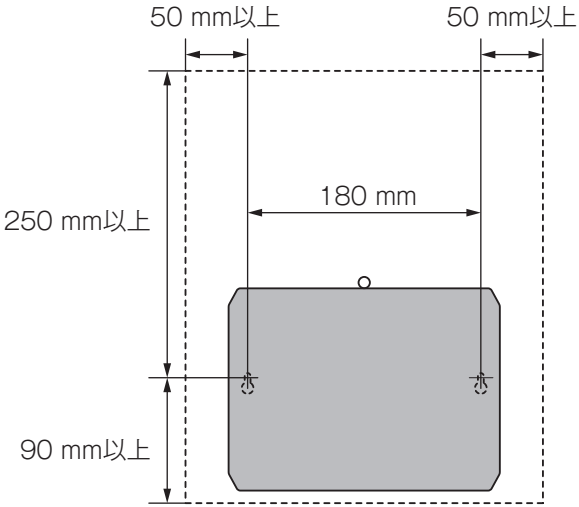
- 木ネジ（固定用ネジ 1）4 mm × 25 mm 以上：１本
- 工具（ネジ締め用）

2. 吊下げ用ネジの取り付け

周りに充電器の取り付け作業や、バッテリの充電作業の障害になる出っ張りなどがない、強度のある壁面に取り付けてください。

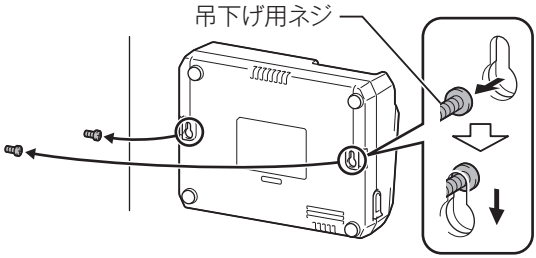






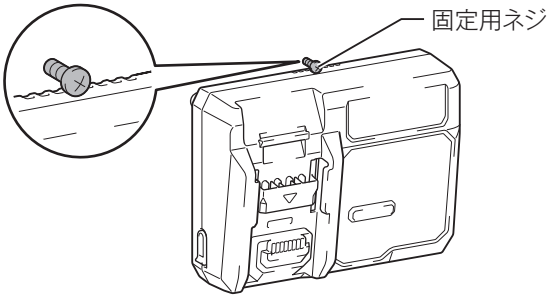
3. 充電器の取り付け

手順 2 で取り付けた吊下げ用ネジに充電器を引っかけてください。



4. 充電器の固定

固定用ネジを図のように締め込んでください。



使用前に知っておいていただきたいこと

本製品およびバッテリの保護機能

本製品を使用中、下記状態になりますとモータが自動停止しますが、これは保護機能によるものです。

保護機能
・ **本製品またはバッテリの温度が高温になるとモータが自動停止します。** ・ 使用を中断して本製品よりバッテリを取りはずし、冷ましてください。冷却ファン付きの充電器をご使用の場合は、充電することにより、バッテリが冷却されます。 ・ バッテリを冷ましても本製品が動作しない場合は、本製品を冷ましてください。
・ **バッテリの容量が少なくなるとモータが自動停止します。** ・ 本製品よりバッテリを取りはずし、バッテリを充電してください。
・ **本製品が過負荷状態になるとモータが自動停止します。** ・ いったんスイッチを放し、本製品よりバッテリを取りはずした後、過負荷の原因を取り除いてください。原因を取り除けば再びご使用になれます。

・ 上記以外の症状で停止した場合、「故障かな？と思ったら」（65 ページ参照）に従って点検してください。

組み立て

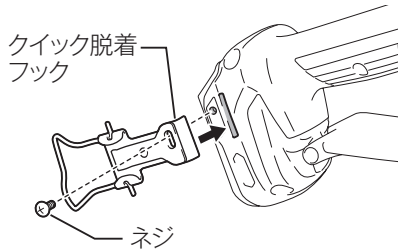
クイック脱着フック（別販売品）の取り付け方法

⚠ 警告

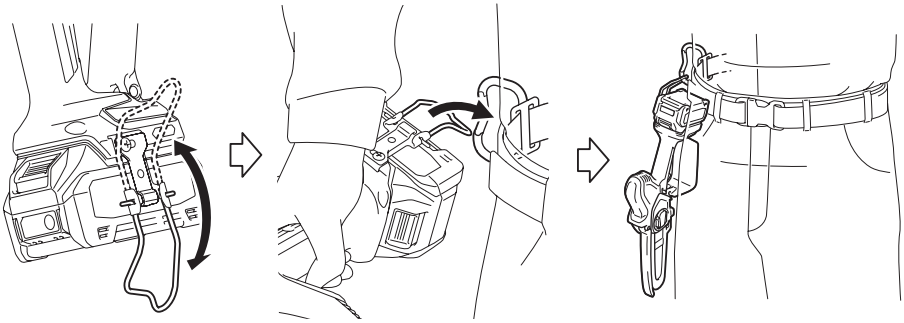
本製品を腰ベルトに掛ける場合は、必ずガイドバーケースを取り付けてください。
・けがの原因になります。

クイック脱着フックは腰ベルトなどへの吊り下げ以外の用途には使用しないでください。
・フックに過度な負荷がかかるとフックが破損し、作業者および周囲または下にいる人がけがをする恐れがあります。

1. ネジでクイック脱着フックを取り付けます。



2. カラビナなどを使用し、腰ベルトに掛けて持ち運べます。



注	・クイック脱着フックを取り付ける際は、ネジを十分に締め付けてください。ネジの締め付けが不十分ですと、フックがはずれ、事故の原因になります。 ・クイック脱着フックを使用する場合はフックがカラビナに確実に掛かっていることを確認してください。 掛かりが不十分ですと本製品がはずれて事故の原因となります。

チェーン刃の調整

⚠ 警告

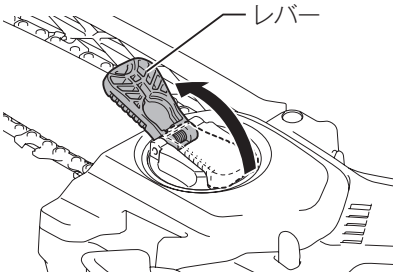
チェーン刃の調整の際は、必ずスイッチを切り本製品よりバッテリを抜いてください。
・ バッテリを本製品に差し込んだまま行うと、事故の原因になります。

チェーン刃は、長時間使用するとゆるむことがありますので、チェーン刃の調整をこまめに行ってください。
・ 張り方がゆるいと、ガイドバーからチェーン刃がはずれ、けがの原因になりますので、使用前にチェーン刃の張りを点検してください。

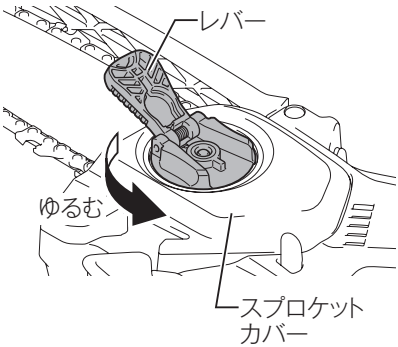
⚠ 注意

チェーン刃の調整の際は、必ず保護手袋をはめて行ってください。
・ けがの原因になります。

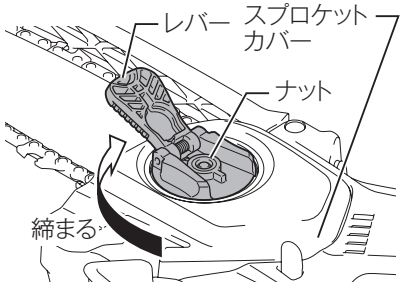
1. レバーをロックする位置まで起こします。



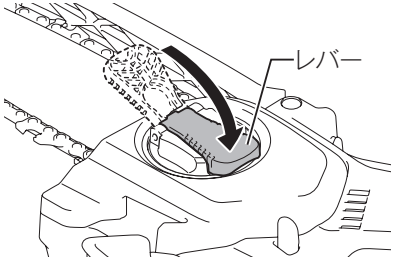
2. レバーを左（反時計回り）に回して、スプロケットカバーを軽くゆるめます。
・ チェーン刃の張りが自動的に調整されます。



3. レバーを右（時計回り）に回してナットをしっかり締め付け、スプロケットカバーを固定します。



4. レバーを元の位置へ倒します。



注	・チェーン刃が新しいときは伸びやすいので、チェーン刃の調整をこまめに行ってください。 ・チェーン刃の張り方がゆるいと、チェーン刃がガイドバーからはずれる原因となります。 ・ナットの締め付けが弱いと、チェーン刃のゆるみの原因となります。

チェーン刃の取りはずし／取り付け方法

⚠ 警告

チェーン刃の取り付け、取りはずしの際は、必ずスイッチを切り本製品よりバッテリを抜いてください。
・ バッテリを本製品に差し込んだまま行うと、事故の原因になります。

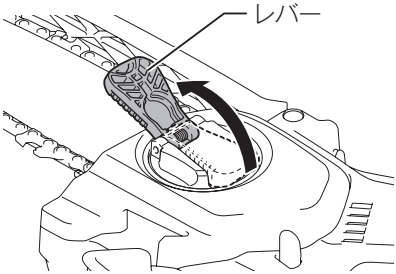
長さの異なるガイドバーに取り替えないでください。
・ けがの原因になります。

⚠ 注意

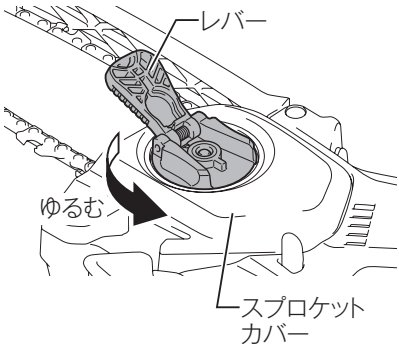
チェーン刃の取り付け、取りはずしの際は、必ず保護手袋をはめて行ってください。
・ けがの原因になります。

チェーン刃の取りはずし方

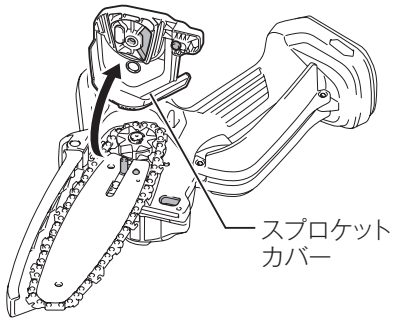
1. レバーをロックする位置まで起こします。



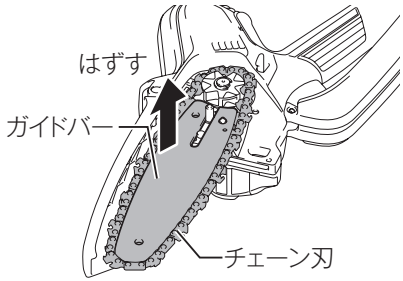
2. レバーを左（反時計回り）に回して、スプロケットカバーがはずれるまでレバーをゆるめます。



3. スプロケットカバーを取りはずします。



4. チェーン刃とガイドバーを持ち上げ、本製品より取りはずします。

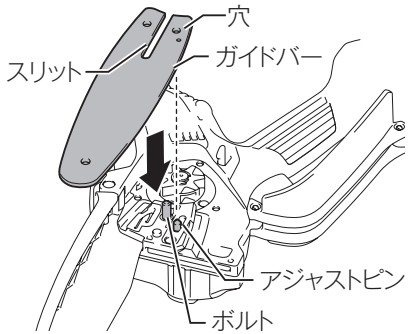


チェーン刃の取り付け方

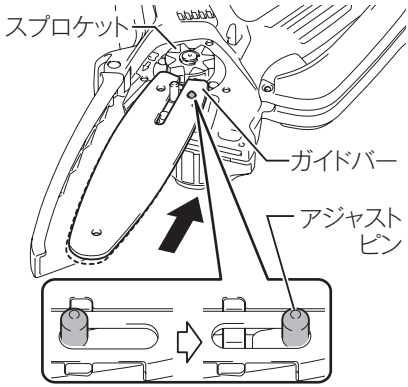
1. バッテリが差し込んである場合は、バッテリを抜きます。

・スプロケットカバーが取り付けてある場合は、チェーン刃の取りはずし方の手順 1 ～ 3（46 ページ）を参照してください。

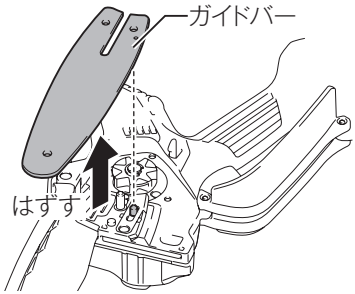
2. ガイドバーのスリットと本製品のボルト、ガイドバーの穴と本製品のアジャストピンを合わせて、図のようにガイドバーをセットします。



3. ガイドバーをスプロケット側にスライドさせ、アジャストピンをロックします。

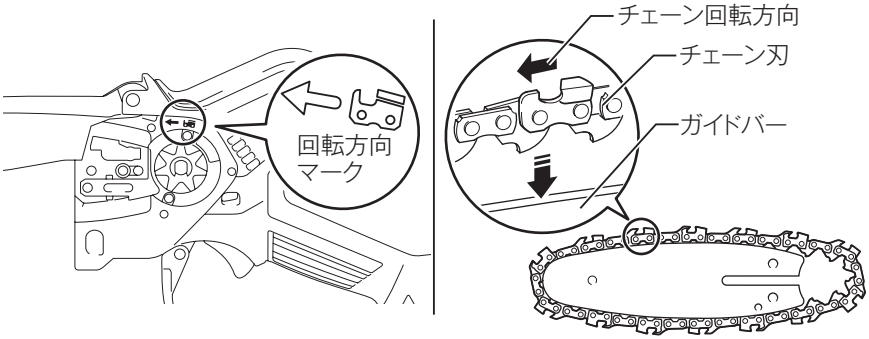


4. ガイドバーを本製品から取りはずします。



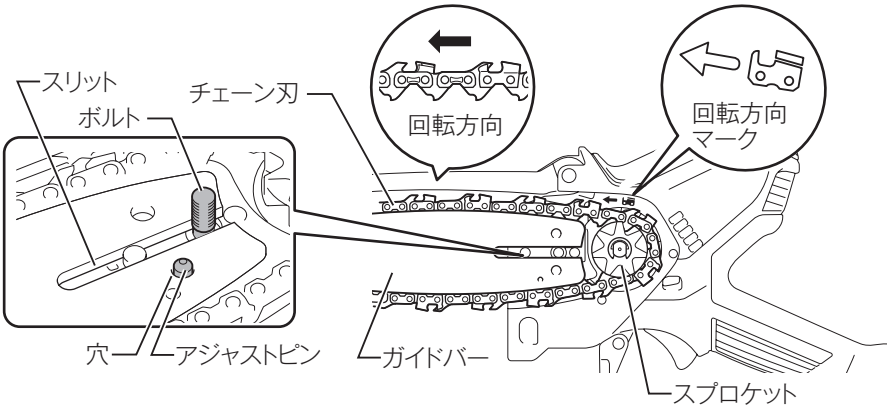
5. ガイドバー外周の溝にそって、チェーン刃をガイドバーに取り付けます。

・チェーン刃は、本製品にあるチェーンの回転方向を示すマークの向きに回転します。チェーン回転方向に、チェーン刃の向きを合わせて、ガイドバーに取り付けてください。

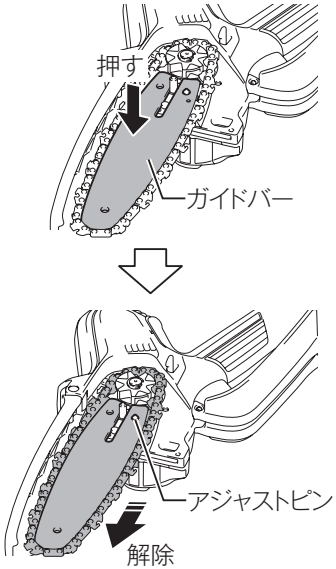


6. チェーン刃をスプロケットにかけながら、ガイドバーのスリットと本製品のボルト、ガイドバーの穴と本製品のアジャストピンを合わせて本製品にセットします。

・回転方向を示すマークの向きに、チェーン刃の向きがあっているか確認してください。



7. ガイドバーを本製品に押し当てると、手順３でロックしたアジャストピンが解除されます。

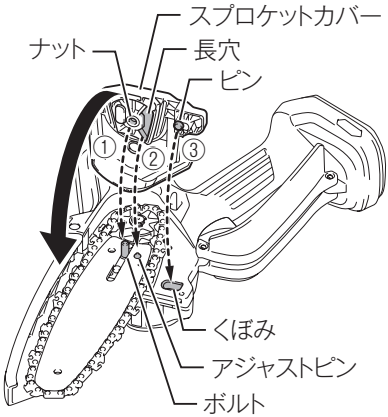


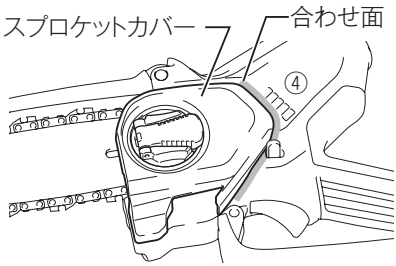
8. ①スプロケットカバー内側のナットと本製品のボルトを合わせ、

②本製品のアジャストピンをスプロケットカバーの長穴に合わせ、

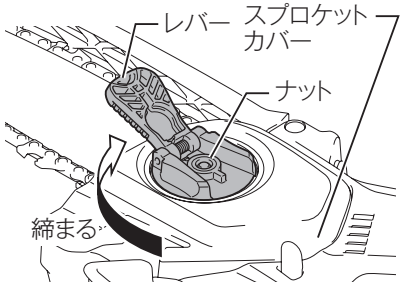
③スプロケットカバーのピンを本製品のくぼみに合わせてかぶせます。

④かぶせる際に、スプロケットカバーと本製品の合わせ面が合っていることを確認してください。



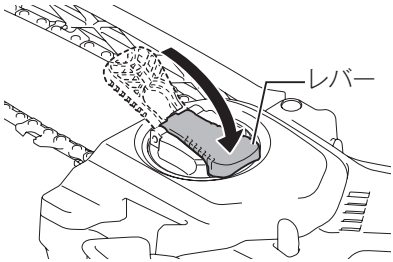


9. レバーを右（時計回り）に回してナットをしっかり締め付け、スプロケットカバーを固定します。



10. レバーを元の位置へ倒します。

・チェーン刃にたるみがないこと、およびチェーン刃を前後にスムーズに動かせることを確認してください。必要に応じて、44 ページ「チェーン刃の調整」を参照して、チェーン刃の張りを調整してください。



注	・ガイドバーは両面使用できます。ガイドバーのかたよった摩耗を防ぐため、新品のチェーン刃に取り替えるたびに、ガイドバーを反転してご使用ください。 ・チェーン刃の取り付け、取りはずしの際は、切りくずなどがない、きれいな場所で行ってください。 ・チェーン刃が新しいときは伸びやすいので、チェーン刃の調整をこまめに行ってください。 ・チェーン刃の張り方がゆるいと、チェーン刃がガイドバーからはずれる原因となります。

バッテリの取り付け／取りはずし方法

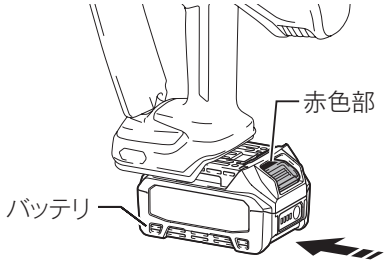
⚠ 警告

本製品にバッテリを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。
・ スイッチを入れたままバッテリを差し込むと、事故の原因になります。

バッテリは確実に差し込んでください。ボタン上部の赤色部が見えている場合は完全にロックされていません。赤色部が見えなくなるまでしっかり差し込んでください。
・ 差し込みが不十分ですと、はずれて事故の原因になります。

取り付け方

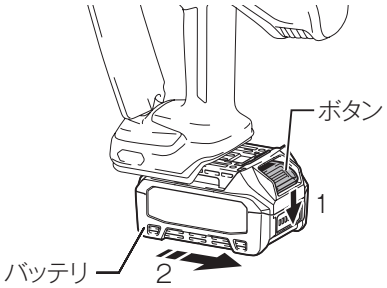
・ バッテリを本製品の溝に合わせ、赤色部が見えなくなるまで差し込みます。



※イラストはBL4040の取り付け例です。

取りはずし方

・ バッテリのボタンを
1. 矢印方向に押しながら
2. 引き出します。



本製品の操作

スイッチの操作

⚠ 警告

本製品にバッテリを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。
・ スイッチを入れたままバッテリを差し込むと、事故の原因になります。

スイッチレバー、ロックオフレバーに異常がないか点検してください。もし異常がある場合は使用せず、修理をお申し付けください。
・ スイッチレバーを操作しても始動および停止ができない場合は異常です。
・ 本製品はロックオフレバーを押すことでスイッチレバーを引ける状態になりますが、ロックオフレバーを押していない状態で、スイッチレバーを引ける場合は異常です。

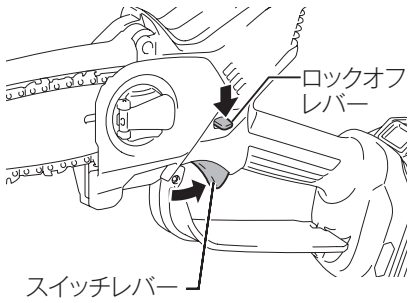
ロックオフレバーをテープなどで固定するような使い方をしないでください。
・ 事故の原因になります。

⚠ 注意

ロックオフレバーを押さずに、スイッチレバーを無理に引かないでください。
・ 故障の原因になります。

1. スイッチはロックオフレバーを押した状態でスイッチレバーを引くと入り、放すと切れます。

スイッチレバーを放すと自動的にロックオフ機構が働き、スイッチが入らない状態になります。



作業方法

⚠ 警告

使用中は、チェーン刃、ガイドバー、回転部や切りくずなどに手や顔などを近づけないでください。
・けがの原因になります。

使用中は、両手で確実にハンドルを保持してください。
・けがの原因になります。

はしごや木に登って作業するなど、不安定な姿勢で使用しないでください。
・けがの原因になります。

ガイドバーの先端部での、切断はしないでください。また、ガイドバーの先端部を枝や地面などに触れさせないよう作業してください。
・本製品がはね返り（キックバック）、けがの原因になります。

切断材料は、しっかり固定してください。また切り落とし材に十分注意してください。
・けがの原因になります。

悪天候時は作業しないでください。
・落雷する恐れがあります。

⚠ 注意

２台以上で作業するときは、安全な距離をおいてください。
・事故の原因になります。

[事業者の方へ]
樹木を伐り倒す作業や伐り倒した樹木を切断する作業を行う場合は、法令、規則で定める特別教育を受けた人に行わせてください。

（関連法令）
労働安全衛生法第 59 条第 3 項
安全衛生特別教育規程第 10 条
労働安全衛生規則第 36 条第 8 号

1. ハンドルを両手でしっかり握り、チェーン刃を木材より離して、ロックオフレバーを押した状態でスイッチレバーを引きます。

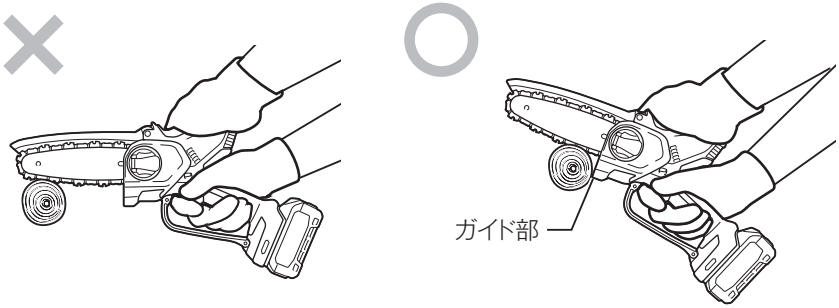
2. ガイドバーの先端から、チェーンオイルが出ているか確認します。

3. チェーンオイルが十分にチェーン刃に付着しましたら切断作業に入ります。

■ 樹木のせん定の場合

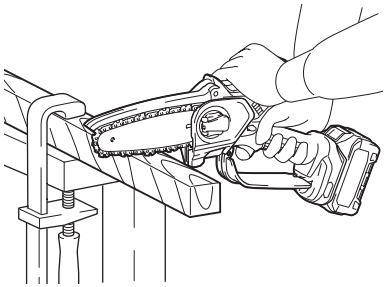
4. ガイド部を枝に軽く押しつけ、チェーン刃を枝より離してスイッチを入れ、枝を切断します。

本製品は前方へ押し出されます。



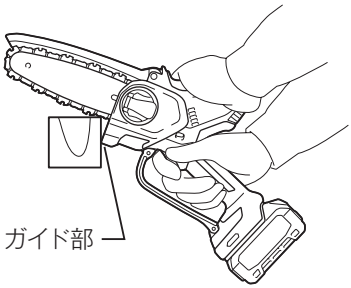
■ 木材の切断の場合

4. 回り止めなどを用いて、切断する木材が動かないように固定します。



5. 本製品ガイド部を木材に当て、切断します。

この際、無理に本製品に力を入れないでください。



注	・初めて使用する場合や長期保管後などは、オイルが出るのに時間がかかる場合があります。 ・ガイド部に切断対象が接していないと本製品がガイド側に引っ張られ、刃先がブレますので注意してください。

使用後の取り扱い

⚠ 警告
点検、整備の際には必ずスイッチを切り、本製品よりバッテリを抜いてください。 ・ バッテリを本製品に差し込んだまま行うと、事故の原因になります。

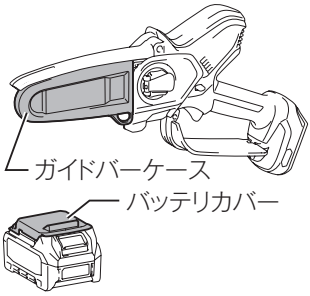
本製品のお手入れ

・ 乾いた布か薄めた中性洗剤を付けた布できれいに拭いてください。

注	**・ 水洗いは絶対にしないでください。** ・ 本製品内部に水が入り、故障の原因になります。 **・ ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。**

ハンディソーの持ち運び方

・ 必ずバッテリをはずして、ガイドバーケースをガイドバーにかぶせてください。また、バッテリにはバッテリカバーをはめてください。



本製品の保管

・ スプロケットカバーを取りはずし、本製品に付着した切りくずを除去してください。
・ チェーン刃、ガイドバーを取り付け、しばらく空転させ、チェーン刃、ガイドバーにオイルを付着させてください。
・ オイルタンク内のオイルを抜いてタンク内を空にしてください。
・ 保管の際は本製品からバッテリを抜き、ガイドバーケースをガイドバーに取り付けてください。

⚠ 警告

点検、整備の際には必ずスイッチを切り、本製品よりバッテリを抜いてください。
・ バッテリを本製品に差し込んだまま行うと、事故の原因になります。

⚠ 注意

点検、整備の際には必ず保護手袋をはめて行ってください。
・ チェーン刃に手が触れ、けがの原因になります。

目立て、デプスゲージの調整の際は、ガイドバーを、ヤスリが水平になるような位置にバイスでしっかりと固定してください。

調整

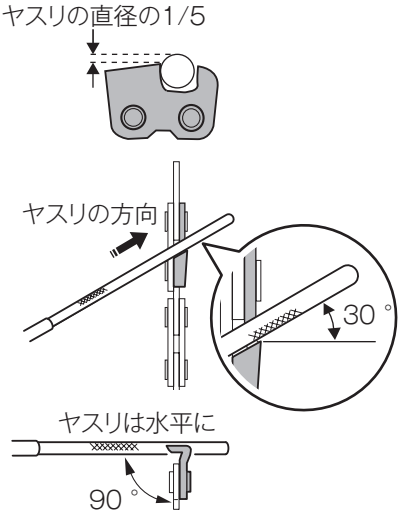
上刃および横刃の目立て

⚠ 警告

チェーン刃は正しく目立てしてください。
・ 特にデプスゲージ寸法が大きくなりすぎると、チェーン刃が切断しやすくなり、けがの原因になります。

※ 80TXL チェーン刃仕様：0.64 mm
M11 チェーン刃仕様：0.5 mm

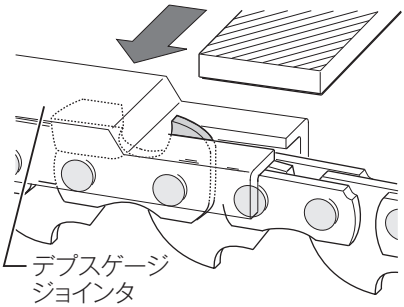
・ ガイドバーに対して丸ヤスリを 30 ° 傾け、丸ヤスリの直径の 1/5 が上刃より出るようにチェーン刃に当ててください。
・ 丸ヤスリの水平を保って、押すときだけヤスリをかけ、手前に引くときは刃部にヤスリを当てないようにして、上刃および横刃の目立てをしてください。



デプスゲージの調整方法

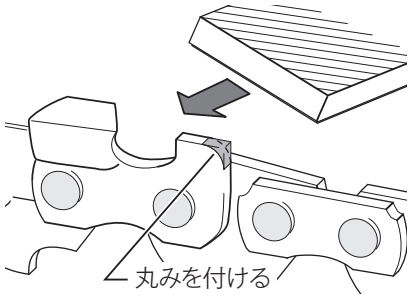
・ デプスゲージはチェーン刃の切り込みしろを適正に保つためのものです。

1. 別販売品のデプスゲージジョインタを図のようにセットし、溝から出た部分を平ヤスリで削り落とします。



2. デプスゲージの角に丸みを付けます。

3. デプスゲージの調整が終わりましたら、オイルに浸して切り粉を洗い落とします。

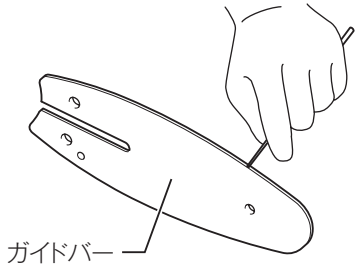


注	80TXL チェーン刃仕様： ・刃部の目立てには、外径が 4 mm（呼び 5/32″）の目立て専用丸ヤスリを使用してください。 M11 チェーン刃仕様： ・刃部の目立てには、外径が 3.2 mm（呼び 1/8″）の目立て専用丸ヤスリを使用してください。

お手入れ

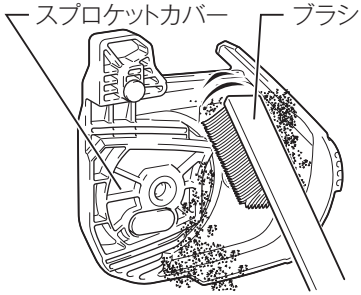
ガイドバーの清掃

・ご使用中に、切りくずがガイドバーにつまることがあります。切りくずがガイドバーの溝につまると、チェーンオイルがチェーン刃全体に行き渡らなくなります。チェーン刃を目立てや交換するときに、ガイドバーの溝に入った切りくずを除去してください。



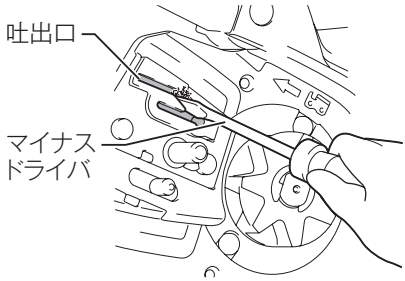
スプロケットカバーの清掃

・スプロケットカバーの内側に、切りくずがたまります。負荷が高くなる原因になりますので、ブラシなどで切りくずを除去してください。



オイル吐出口の清掃

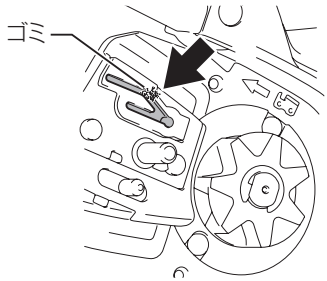
・ ご使用中に細かなゴミが吐出口につまることがあります。
・ ゴミが吐出口につまるとチェーンオイルの吐出量が少なくなりチェーンオイルがチェーン刃全体に行き渡らなくなる恐れがあります。
・ マイナスドライバの先端などで吐出口のゴミを取り除いてください。



・ ガイドバー先端からのチェーンオイルの吐出が少なくなった場合は下記手順で吐出口の清掃をしてください。

1. バッテリを本製品から抜きます。

2. スプロケットカバー、チェーン刃を取りはずします（46 ページ「チェーン刃の取りはずし／取り付け方法」参照）。



3. バッテリを本製品に差し込みます。

4. スイッチレバーを引いて本製品のオイル吐出口にたまっている細かなゴミをチェーンオイルで洗い流します。

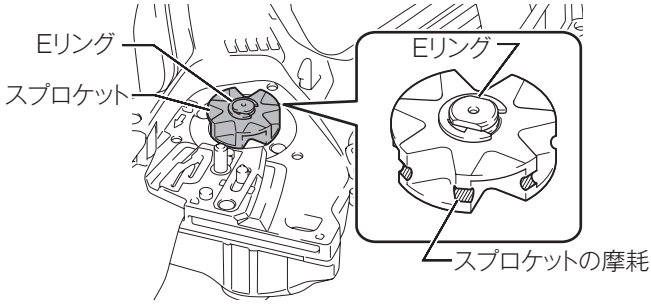
5. バッテリを本製品から抜きます。

6. スプロケットカバーとチェーン刃を本製品に取り付けます（46 ページ「チェーン刃の取りはずし／取り付け方法」参照）。

消耗品の交換／補充

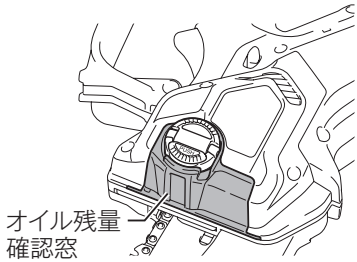
スプロケットの交換

・ チェーン刃を交換するときにはスプロケットの状態を確認してください。
・ スプロケットがイラストのように摩耗している場合、スプロケットを新品と交換してください。
・ スプロケットを交換するときには必ず新品のＥリングを使用してください。

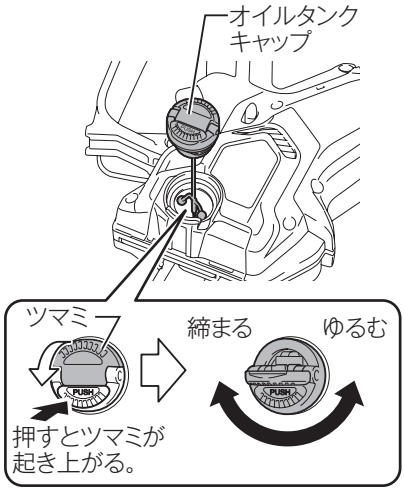


チェーンオイルの補充

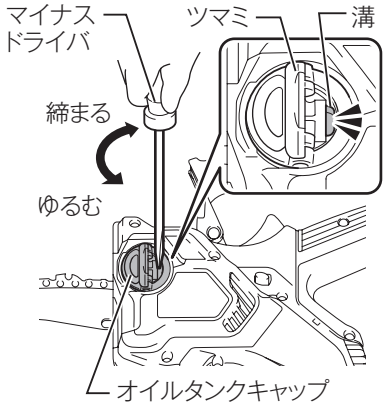
・ チェーンオイルはハンディソーを運転すると自動的に給油されます。
・ 使用前に必ずオイルタンクにチェーンオイルを入れてください。
・ 作業中もオイルタンク内のチェーンオイル残量を確認し、少ない場合は補充してください。



・ チェーンオイルの補充はオイルタンクキャップを取りはずして入れます。容量は約 55 mL です。
・ オイルタンクキャップは、ツマミを起こし、オイルタンクキャップがはずれるまで、ゆるむ方向に回して取りはずします。



・ オイルタンクキャップがゆるまないときは、マイナスドライバの先端を溝に入れて回してください。
・ 補充後はオイルタンクキャップを元通りに閉じ、補充したチェーンオイルが漏れないよう、しっかり締めてください。



注	・ 使用するときは、チェーンオイルをオイルタンクに入れてください。 ・ チェーンオイルは、マキタ純正チェーンオイルをお使いください。 ・ ゴミなどの混入したオイルおよび揮発性のオイルは絶対使用しないでください。

チェーンキャッチャー（スプロケットカバー）の交換

・ チェーンキャッチャー（スプロケットカバー）が損傷した場合、お買い上げの販売店、または当社営業所に新品への交換をお申し付けください。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、下記項目を点検してください。

症状

- 本製品が停止する
- 始動しない

原因

保護機能※1 が働き、本製品またはバッテリが機能停止している可能性があります。

解消方法

スイッチを切って、再度入れてください。

↓ 解消しない

バッテリを充電するか、充電済みのバッテリと交換してください。

↓ 解消しない

本製品を十分に冷ましてください。

↓ 解消しない

チェーンオイルの量を確認して足りない場合は補充してください。※2

↓ 解消しない

チェーン刃の張りを調整してください。※3

↓ 解消しない

お買い上げの販売店、または当社営業所まで修理をお申し付けください。

※ 1 保護機能については 41 ページ参照。
※ 2 チェーンオイルについては 63 ページ参照。
※ 3 チェーン刃の調整については 44 ページ参照。

ご修理の際は

- 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
- 修理をお申し付けの際は、製品、バッテリ、充電器を一緒にお持ちください。

株式会社マキタ
愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711（代表）

881K82C5
CRE